

# ペルゴレージの歌劇 オリンピーアデ

〔日本初演〕

紀尾井ホール開館20周年に当たり、オペラのエキスパート河原忠之の指揮、今広く注目を集めている栗國淳の演出により、豪華キャストと実力派器楽アンサンブルでお贈りするペルゴレージの「オリンピーアデ」日本初演。前号に引き続き、今号ではペルゴレージ「オリンピーアデ」の7人の登場人物とそれぞれの聴きどころのアリアをご紹介します。



栗國淳(演出)



河原忠之(指揮・チェンバロ)  
©K. Miura



アルカンドロ 彌勒忠史



アリスティア 幸田浩子

## クリステアーネ(吉田浩之)

シチヨーン(シキユオン)という都市国家の僭主(王統ではなく、武力や人心の掌握などの実力によって支配権を持った者)。アテネ人を嫌い、娘のアリスティアをオリンピック競技での優勝者にめとらせることを決めます。

## アリスティア(幸田浩子)

メガークレと愛し合っているものの、アテネ人嫌いの父・クリステアーネがアテネ出身のメガークレとの結婚を許しません。その上、オリンピック競技の優勝者との結婚を強要されることとなります。

©Eiji Shinohara

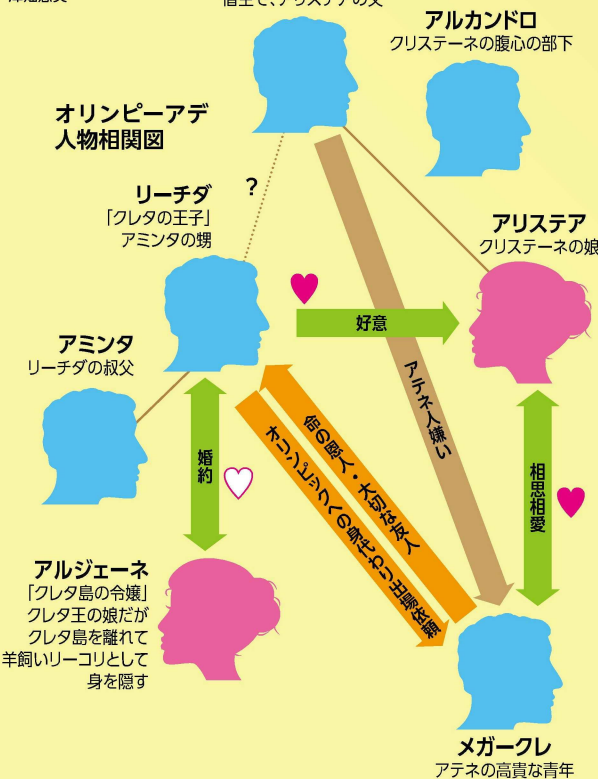


クリステアーネ 吉田浩之

クリステアーネ 僭主で、アリスティアの父

アルカンドロ クリステアーネの腹心の部下

## オリンピーアデ 人物相関図



リーチダ 澤畑恵美



アミンタ 望月哲也



アルジェーネ 林美智子



メガークレ 向野由美子

## アルジェーネ(林美智子)

クレタ王の娘。「クレタの王子」と信じられていたリーチダに思いを寄せているものの、父のクレタ王がリーチダとの結婚を身分違いのものとして許さず、クレタを捨て、エーリデ村で羊飼いのリーコリと名乗り、静かに暮らしていました。

## リーチダ(澤畑恵美)

愛し合っていたアルジェーネがクレタを捨てた後、リーチダはオリンピック競技

の褒賞となっているアリスティアに魅了され、盟友メガークレを身代わりとしてオリンピック競技に出場させ、リーチダに扮したメガークレは優勝します。しかし、不正は暴かれ、リーチダは死刑を宣告されます。

します。しかしその褒賞がアリスティアと知り、リーチダとの約束とははざままで悩み、自殺を図ります。

「私は見知らぬ海に投げ出された乗客Son qual per mare ignoto」(第3幕第6場)死刑宣告を受けているリーチダと運命を共にすることを決意したアミンタの歌。

「紀尾井オペラ・アンサンブル」は、今回このオペラのために特別に編成したオケストラです。実力と人気を兼ね備えた石田泰尚をリーダーに迎え、選りすぐりのメンバーが集結します。

世界へと皆さまを誘います。 ※このオペラの原作は3幕ですが、今回は第1部第2幕第11場までと第2部(第2幕第12場以降)の2部構成で上演します。

「私運命はあなたの許しを請わぬ Nella fatal mia sorte」(第3幕第7場)死刑を宣告されたリーチダが死を恐れないと歌いますが、中間部で不安感をのぞかせているところが、ペルゴレージの音楽の妙味です。

「僕には自信がある Superbo di me stesso」(第1幕第2場)オリンピック競技に何度も勝ち、力みなざる若者の姿を描き出した快活なアリア。

クリステアーネの腹心の部下。物語の中では、リーチダに扮するメガークレがオリンピック競技に勝利したことをアリスティアやアルジェーネのもとに知らせたり、リーチダに死刑となることを伝えたりします。



石田泰尚(ヴァイオリン)

## メガークレ(向野由美子)

メガークレが迫るはぎに襲われた時、リーチダがそれを救い、それを期に盟友となりました。そのリーチダに頼まれ、メガークレは身代わりとしてオリンピック競技に出場し、見事リーチダとして優勝

アリスティアの叔父で後見人のアミンタ。アルジェーネの悩みを受け入れたり、不正を犯して苦しむリーチダに寄り添ったりする役どころです。

「美しい知らせを持ってきまじった Appottator son io!」(第2幕第2場)リーチダに扮するメガークレがオリンピック競技に勝利した知らせをもたらす喜びを歌っています。

ペルゴレージ歌劇  
「オリンピーアデ」  
10.6\* 18:30  
10.8\* 18:30

紀尾井ホール開館20周年  
友の会会員15%割引

下のQRコードでYouTubeからペルゴレージ「オリンピーアデ」の様子がご覧いただけます。



今回公演とは演出やカットなどが異なります。